

I まちづくり分野

柱1 快適な生活環境の維持【環境保全】

自然と調和した環境負荷の少ない生活環境が保全され、快適な生活を送っている

柱2 限られた資源の活用【ごみ減量・処理】

ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている

柱3 にぎわいあるまちづくりの推進【市街地整備】

秩序ある都市計画により、美しくにぎわいのあるまちで生活している

柱4 生活にゆとりとuringおいを生む公園緑地推進【公園緑地】

公園などが整備され、ゆとりとuringおいのある生活を送っている

柱5 生活を支える道路の整備と維持管理【道路】

道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

柱6 安心して住み続けられる住環境の確保【住環境】

住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

柱7 浸水被害のないまちづくりの推進【治水】

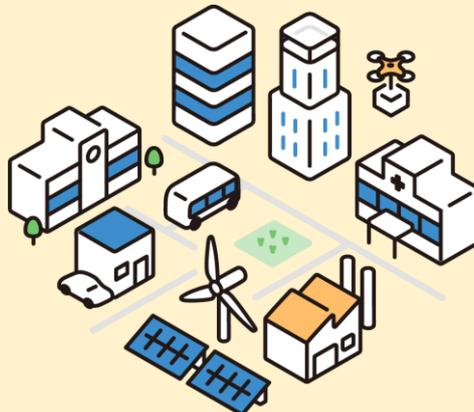
河川などが整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている

柱8 公共下水道の普及促進【下水道】

下水道が整備され、衛生的で快適な生活を送っている

柱9 安全な水の安定供給【上水道】

健全な経営と水道施設の整備により、安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している



I まち 柱 1 快適な生活環境の維持 — 環境保全 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

国は2050年までに温室効果ガス[※]の排出量と吸収量を均衡させ、温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボンニュートラル[※]をめざすことを宣言し、気候変動問題の解決に向けて、取り組みを進めています。他方で、地域における環境では、高齢化の進展に伴う空家・空地の増加により、管理されていない土地が周辺環境に及ぼす悪影響が問題になっています。

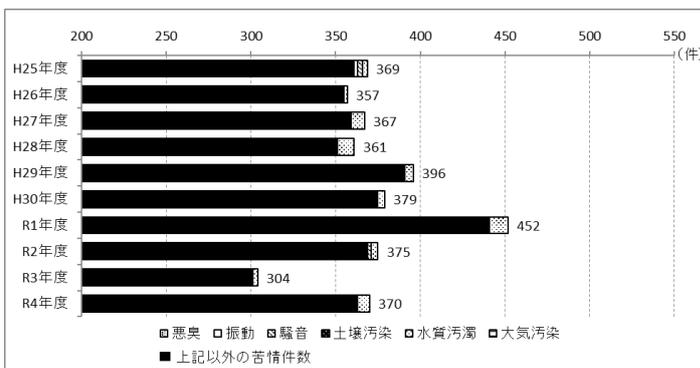
【江南市の現状・課題】

江南市においては、地球温暖化防止のため、江南市環境基本計画や江南市地球温暖化対策実行計画に基づいた取り組みを行っているほか、令和5年2月には江南市ゼロカーボンシティ宣言[※]（全国の宣言表明自治体数 令和5年9月時点：991自治体）を行い、2050年ゼロカーボンシティ[※]の実現に取り組んでいます。また、生活環境の苦情は多種多様化しており、雑草や屋外燃焼行為などへの苦情は年間300件を超えていることから、生活環境を損なわないための意識の向上と迅速な対応が課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、地球温暖化防止という地球規模の問題に対して、市が独自にできる範囲の取り組みを進めつつ、市民一人ひとりが環境への加害者・被害者であることの自覚を促していく必要があります。省エネルギー、省資源、自然環境保全、環境監視などの取り組みにおいて、市民・事業者・行政の協働による幅広い対応が求められています。

■ 公害苦情件数の推移



■ 公害苦情件数の内訳

区分	年度									
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
法律で定められた 公害の苦情件数	大気汚染	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	水質汚濁	3	2	8	10	5	4	11	4	3
	土壌汚染	0	0	0	1	0	0	0	0	0
	騒音	3	1	0	1	0	1	0	2	0
	振動	2	0	0	0	0	0	0	0	0
	地盤沈下	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	悪臭	1	0	0	0	0	1	0	1	0
小計	9	3	8	12	5	6	11	7	3	
上記以外の 苦情件数	屋外燃焼行為	107	95	88	67	74	69	74	48	37
	雑草除去	136	143	174	158	197	154	205	174	156
	その他	117	116	97	124	120	150	162	146	108
	小計	360	354	359	349	391	373	441	368	301
合計	369	357	367	361	396	379	452	375	304	370

資料：環境課

目標年度（R9年度）のすがた

自然と調和した快適な生活環境をめざし、公害苦情の少ないまちづくりが積極的に推進されている。また、地球温暖化防止のため、国からの支援も得ながら、クリーンエネルギー*の導入が進み、市民・事業者の省エネルギー、省資源への意識が向上し、日常生活や事業活動において環境に配慮した行動が根づいている。その結果、環境負荷の少ない生活環境が確保されるとともに、地域経済が成長することで地域活性化や地域貢献にも繋がり、市民が安心して快適に暮らしている。

行政の使命

環境負荷の少ない生活環境を確保するため、積極的な啓発、パトロールを実施し、迅速かつ適切な対応により問題解決に当たる。また、市民・NPO*・事業者などと協働で、省エネルギー、省資源、自然環境保全、環境監視などの幅広い取り組みをよりいっそう進め、市民の意識の高揚を図る啓発、活動支援を積極的に行い、持続可能な社会の形成を推進する。

成果目標

全体目標：自然と調和した環境負荷の少ない生活環境が保全され、快適な生活を送っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
日ごろから、省エネルギーや再生可能エネルギーの導入などにより、環境に配慮して生活している市民の割合	%	37.8 (H28)	目標値	57.0	72.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	30.7	—	
水質汚濁・騒音・悪臭など公害のない快適な環境で生活していると感じる市民の割合	%	57.6 (H28)	目標値	60.0	61.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	57.9	—	

個別目標①：環境保全の意識が高まり、環境負荷の少ない生活・活動を営んでいる

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
環境保全活動を行っている市民の割合	%	47.2 (H29)	目標値	52.0	55.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	41.7	—	
市民1人当たりの二酸化炭素排出量	tCO ₂ /人年	5.70 (H27)	目標値	4.89	4.58	温暖化の原因となる二酸化炭素排出量を測定するもの。
			実績値	4.30	—	
「江南市ゼロカーボンシティ宣言*」を知っている市民の割合	%	15.1 (R5)	目標値	—	50.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	—	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
環境保全への意識の高揚	地球温暖化対策として住宅用太陽光発電システムなどの設置費補助金を継続するとともに、LEDなどの省エネルギー製品の導入及び普及促進を図る。また、家庭や事業所で手軽に取り組むことができる「緑のカーテン」の実施やエコドライブなどの二酸化炭素の排出を抑制する取り組みを促進する。さらに、公共施設においても、LED照明の導入や電気自動車充電設備の設置、公用車としての電気自動車の導入など、脱炭素化に向けた取り組みを実施する。	・温暖化防止事業

個別目標②：良好な生活環境が創出され、公害・苦情の少ない快適な生活を送っている

指 標 名	単位	基準値	計画値	R 5		説 明
				R 5	R 9	
公害苦情件数	件	361 (H28)	目標値	182	146	良好な生活環境の程度を測定するもの。
			実績値	370	—	
河川水質に係るBOD [※] （生物化学的酸素要求量）の環境基準の達成割合	%	50.0 (H28)	目標値	64.3	78.6	環境基準達成箇所数/環境基準測定箇所数
			実績値	92.9	—	
大気中の窒素酸化物の量	ppm	0.021 (H27)	目標値	→	→	大気の汚染状況を測定するもの。
			実績値	0.015	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
良好な生活環境の創出	良好な生活環境を創出するため、意識啓発や自然環境の調査・監視を実施するとともに、公害苦情などの相談及び対策をする。	・環境公害対策事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●環境基本計画推進事業

- ・市民の代表者や学識経験者によって構成する環境審議会において、環境基本計画の進捗管理などを行っています。

●環境教育事業

- ・環境学習アドバイザーを委嘱されたNPO・ボランティア[※]団体などの会員が、市に環境学習プログラムを登録し、そのプログラムを小中学校、保育園、その他各種団体などからの申込みを受けて、講座を実施しています。

市民協働の推進に向けて

●低炭素社会に向けた活動の実践

- ・市民、事業者に対し、省エネルギー行動の普及促進、環境への配慮の啓発などを行います。

●生活排水対策の推進

- ・各家庭で排水対策に取り組んでいただくよう、排水の処理方法の啓発を行います。

関連する個別計画

- 第三次江南市環境基本計画（R4～R13）
- 第四次江南市地球温暖化対策実行計画（R5～R9）

I まち 柱 2 限られた資源の活用 — ごみ減量・処理 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

循環型社会[※]形成の実現のため、廃棄物の発生抑制（リフューズ）、排出抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）の4Rが推進され、廃棄物などを貴重な資源としてよりいっそう有効活用するなど、循環を量の面から捉えるだけでなく質の面からも捉えて、地域全体によるごみ減量やリサイクルの取り組みが推進されています。

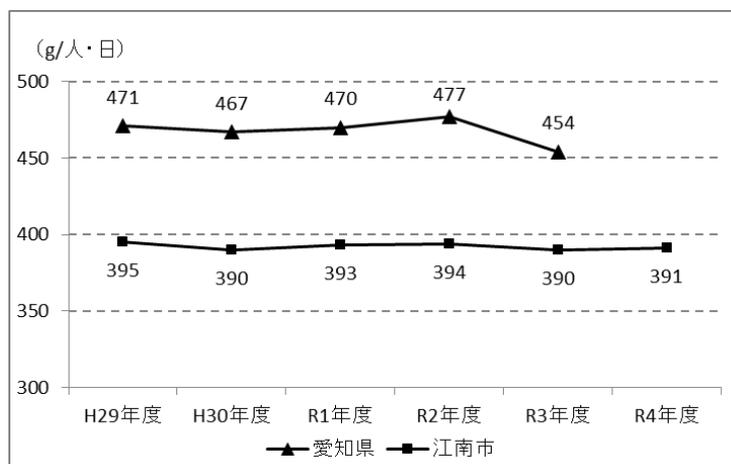
【江南市の現状・課題】

江南市においては、令和4年度の1人1日当たりの家庭系可燃ごみの排出量は391gで、ここ数年は横ばい傾向にあります。県内でいち早くごみ減量対策に取り組んできたことから、全国的に見ても高い水準を維持しています。他方で、近年の高齢化の進展や生活スタイルの多様化に伴い、資源ごみが出しづらい、立ち当番が負担である、と感じる人が増えています。また、食べ物がまだ食べられるのに捨てられてしまうことを意味する「食品ロス」[※]が近年問題となっているため、新たに専用のインターネットサイトを通して、廃棄直前の食品を安く売り買いすることができるフードシェアリング[※]サービスを令和5年10月より導入しています。さらに、老朽化が進んでいた江南丹羽環境管理組合[※]の焼却施設に代わる施設として、中般若町北浦地内に新ごみ処理施設を建設（令和10年4月より供用開始予定）することが決まっており、近隣3自治体と組織する尾張北部環境組合を中心に整備、運用を進めることとなっています。

【今後の方向性】

循環型社会形成の実現に向けて、ごみに対する意識改革を提起することにより、エコバッグの持参や廃棄する食品の減少などを促し、市民・事業者・行政が協働してごみ減量に取り組んでいくことが求められています。また、資源ごみの排出利便性を高めるとともに、立ち当番の負担を軽減する必要があることから、資源ごみの収集体制の見直しなどが必要となっています。さらに、フードシェアリングなどのごみが発生しない仕組みづくりも進めていく必要があります。

■ 1人1日当たり家庭系可燃ごみ排出量の推移



資料：環境課

目標年度（R9年度）のすがた

循環型社会形成の意識が定着し、ごみ減量運動が市民・事業者・行政の協働により、地域全体で取り組まれている。

その結果、市民1人当たりのごみ排出量が減少し、快適で衛生的な生活環境の下で、市民が安心して暮らしている。

行政の使命

地域のごみ減量に関する意識の高揚と行動の促進を図るための啓発、組織や人の育成、活動支援を行い、適正な分別リサイクルを行う。また、ごみ処理施設、し尿処理施設及び火葬施設については、適正で効率的な運営を図り、新ごみ処理施設建設事業については、事業主体である尾張北部環境組合と連携し、安心・安全なごみ処理施設の実現に取り組む。

成果目標

全体目標：ごみ減量やリサイクルを取り入れた生活環境が実現し、市民が安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
ごみの減量やリサイクルに取り組んでいる市民の割合	%	60.7 (H28)	目標値	65.0	70.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	53.3	—	

個別目標①：リサイクルが進み、市民が出す可燃ごみ量が減っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
市民1人1日当たりの家庭系可燃ごみ排出量	g	395 (H28)	目標値	392	392	家庭系可燃ごみ排出量が減っているかを測定するもの。
			実績値	391 (R4)	—	
1事業所1年当たりの事業系可燃ごみ排出量	t	7.6 (H27)	目標値	7.4	7.4	事業系可燃ごみ排出量が減っているかを測定するもの。
			実績値	5.7 (R4)	—	
最終処分量	m ³	413.8 (R4)	目標値	—	350.0	リサイクルや焼却処理されず埋立処分された廃棄物の量を測定するもの。
			実績値	—	—	
資源ごみリサイクルステーションの閉鎖日数（祝日、年末年始及び災害時を除く）	日	0 (R5)	目標値	—	0	市民の生活利便性の向上と限りある資源の有効活用を測定するもの。
			実績値	—	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
ごみ減量と再利用の促進	ごみ減量の啓発を引き続き行い、説明会、ボランティア分別指導員※養成講座、事業所訪問などで啓発活動を実施する。	・ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57（コウナン）運動」※事業

個別目標②：ごみ、し尿、火葬が適正に処理され、市民の生活環境が保全されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
特定家庭用機器の不法投棄台数	台	10 (H28)	目標値	10	家電・パソコンの不法投棄が減っているかを測定するもの。
			実績値	28 (R4)	
ごみ・し尿を速やかに収集、処理することで、衛生的に暮らしていると感じる市民の割合	%	84.8 (H29)	目標値	88.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	82.0	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
ごみの適正な収集、運搬、処分	市民の生活環境を保全するため、ごみなどの収集及び処理を行い、ごみ処理に関して、一部事務組合や関係団体などと連絡・調整を図るとともに、清掃業者などに対して業の許可や指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 可燃ごみ収集運搬事業 分別ごみ収集運搬事業 尾張北焙環境組合関係事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●ごみ減量対策・ごみ減量作戦「57（コウナン）運動」*事業

- ・市内各区が主体性をもって、ごみ集積場所を管理運営することにより、ごみの減量や分別に関する取り組みを行っています。
- ・市民、事業者の協力の下、施設見学や分別推進員の養成・活動推進の取り組みを行っています。

市民協働の推進に向けて

●ごみの発生（排出）抑制と再使用の取り組みの促進

- ・食品ロス*の削減に取り組むため、フードバンク活動*の啓発などを行います。

関連する個別計画

- 江南市ごみ処理基本計画（改訂版）（H27～R6）
- 江南市生活排水処理基本計画（改訂版）（H28～R7）
- 江南市分別収集計画（R5～R9）



フードドライブ

I まち 柱 3 にぎわいあるまちづくりの推進 — 市街地整備 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

人口減少・超高齢社会^{*}の進展や頻発・激甚化する自然災害に対応するため、持続可能なまちづくりを行うための議論が盛んに行われています。こうした社会情勢の変化に対応するために、国は都市再生特別措置法を改正し、安全で魅力的なまちづくりの推進を進めています。また、コンパクトシティ^{*}形成支援事業などを通じて、自治体の立地適正化計画^{*}の計画策定や、医療、福祉施設などの集約地域への移転促進を後押ししています。

【江南市の現状・課題】

江南市においては、以前より駅前・市街地の活性化が重要であるとする市民が多い中で、あわせて秩序あるまちなみの形成も重要であるという認識が高まっていました。それらの意見を踏まえ、令和5年4月に布袋駅東複合公共施設をオープンするなどの布袋駅周辺の再開発を進めてきましたが、江南駅前広場では自動車による渋滞などの解消が課題となっています。

【今後の方向性】

今後も持続可能な都市構造への転換を進めていくためには、都市基盤整備とともに、民間による多種多様な活動と提案が必要不可欠であり、市民、事業者と行政が連携・協働することが重要です。都市計画マスタープラン^{*}や立地適正化計画などに定められたコンパクトシティ推進のための考え方や、今後の交通ネットワークのあり方に関する方針に基づき、秩序ある都市計画の推進を図ることが求められています。

目標年度（R9年度）のすがた

適切な市街地整備を進めることにより、地域の都市生活、経済活動が活性化し、まちづくり活動を積極的に推進する団体が組織され、行政との協働による自立した多様なまちづくり活動が盛んに行われている。

その結果、秩序ある都市計画の推進がなされ、中心拠点や地域拠点に生活利便施設の集約化が進み、拠点間の交通ネットワークが確保されていることで、市民がにぎわいと安らぎのある生活を送っている。

行政の使命

人口減少・超高齢社会を見据えたコンパクトシティの実現に向けて、市民と共有できるビジョンや方策を定めた都市計画マスタープランや立地適正化計画などに基づき、秩序ある都市空間を創出するため、実現性の高い都市計画を推進する。

成果目標

全体目標：秩序ある都市計画により、美しくにぎわいのあるまちで生活している

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
秩序ある、美しいまちなみが形成されていると感じる市民の割合	%	22.0 (H28)	目標値	33.0	40.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	26.0	—	

個別目標①：適正な都市計画により、秩序があり美しく、快適なまちづくりが行われている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
居住誘導区域内の世帯数	世帯	21,322 (R5)	目標値	—	21,230 快適で便利な生活環境が維持されているかを、居住誘導区域内の世帯数で測定するもの。
			実績値	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
秩序ある都市計画の推進	快適で持続可能な生活環境づくりをめざし、土地利用のあり方や実現性の高い都市施設整備の方針を都市計画マスタープラン [※] 及び立地適正化計画 [※] で示し、集約型都市構造の形成を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画基本図整備事業 都市計画マスタープラン及び立地適正化計画策定事業

個別目標②：市民の足が確保できている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
誰もが公共交通により市内の必要な場所に行くことができ、便利に暮らしていると感じる市民の割合	%	16.9 (H28)	目標値	22.0	27.0 市民満足度調査により測定。
			実績値	20.1	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
市民の足の確保	市民の移動手段の確保のため、市のまちづくりの方向性に沿った公共交通を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> いこまいCAR[※]運行事業 バス関連事業

個別目標③：魅力的で快適な市街地が整備され、多くの市民でにぎわっている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
駅前や市街地が整備され、人々が集いにぎわっていると感じる市民の割合	%	11.3 (H28)	目標値	20.0	25.0 市民満足度調査により測定。
			実績値	24.2	
江南駅・布袋駅の1日当たりの乗降客数	人	35,700 (江南駅) 27,000 (布袋駅) 8,700 (H28)	目標値	36,400	36,800 市街地のにぎわいを、駅の乗降客数で測定するもの。
			実績値	31,471 (R4)	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
中心拠点の基盤整備	布袋駅付近において、鉄道の高架化に伴う道路などの整備を行うことにより、交通環境を改善し、良好な市街地を形成する。 江南駅付近においては、布袋駅付近での事業効果を検証し、地域の声を参考にして、交通環境改善計画の策定を進める。	<ul style="list-style-type: none"> 交通結節点整備事業（布袋駅東地区） 江南駅周辺交通環境改善計画策定事業

個別目標④：円滑に移動できる道路交通ネットワークが整備されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明
			R5	R9	
都市計画道路※の整備率	%	67.5 (H28)	目標値	69.1	道路交通ネットワークの整備が行われているかを、都市計画道路の整備率で測定するもの。 都市計画道路整備済延長/都市計画道路計画延長
			実績値	68.8 (R4)	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
道路交通ネットワークの整備推進	都市計画マスタープラン及び立地適正化計画に示す整備方針に基づき、都市計画道路などを整備する。	<ul style="list-style-type: none"> 街路整備促進事業 都市計画道路整備事業（江南通線）

市民協働のモデル

市民協働事業

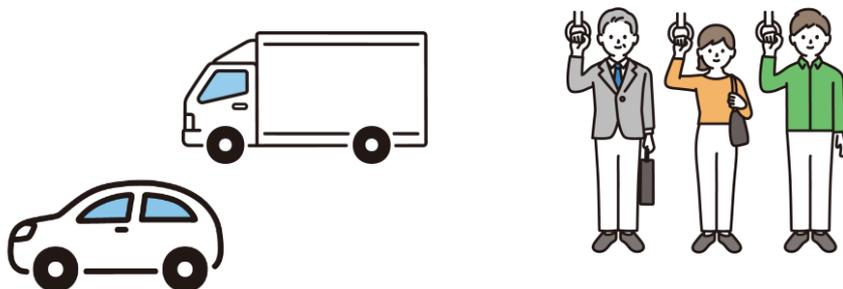
- 江南駅周辺交通環境改善計画策定事業**
 - ・地域の声を参考にして江南駅周辺の交通環境改善計画を策定します。

市民協働の推進に向けて

- 地域による公共交通の検討支援**
 - ・新たな公共交通に対する地域のニーズなどについて、地域が主体となって検討することに対して支援します。

関連する個別計画

- 江南市都市計画マスタープラン（H30～R9）
- 江南市緑の基本計画（H30～R9）
- 江南市立地適正化計画（H31～R9）



I まち
柱 4

生活にゆとりとuringおいを生む公園緑地推進
— 公園緑地 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

都市における緑と公園などのオープンスペース[※]は、ゆとりとuringおいのある生活を実現するため、また、災害の拡大防止、緊急時の避難場所、復旧復興活動の拠点などのために重要な役割を担っており、わが国では都市緑地法の改正などにより、都市の緑空間を可能な限り保全し活用していく取り組みが進められています。

【江南市の現状・課題】

江南市においては、令和3年度末の市民1人当たりの都市公園面積は4.0㎡で、特に市街地で低く、愛知県平均8.4㎡、全国平均10.8㎡を大幅に下回っており、今後も用地確保などの困難な問題もあり、公園整備については厳しい状況です。一方で、公園緑地に対する市民ニーズは多様化し、よりきめ細やかな対応が求められます。また、多種多様な公園施設は、設置から年数が経過したものが多く老朽化が進んでおり、修繕などの負担も増大しています。

【今後の方向性】

今後は、江南市都市計画マスタープラン[※]・江南市緑の基本計画に基づき、市民、事業者などが有する民有地の活用も含めた市街地における計画的な公園緑地の整備を進めるとともに、地域と行政の協働による維持管理の実施、安心・安全な公園施設を維持するための計画的な改修・更新を推進していくことが求められています。

■江南市内の公園など（令和3年度末現在）

種別	箇所数	面積
都市公園	17箇所	399,045㎡
その他公園	12箇所	23,654㎡
児童遊園	9箇所	16,584㎡
遊園地	16箇所	8,875㎡
緑地	19箇所	2,890㎡
広場等	10箇所	16,804㎡
合計	83箇所	467,852㎡

資料：都市計画課

■緊急避難場所に指定された公園など

対象災害	公園などの名称
地震	地蔵山児童遊園、草井児童遊園、布袋児童遊園、二子山児童遊園、交通児童遊園、古知野中児童遊園、北山児童遊園、小鹿児童遊園、白山児童遊園、(仮称)大間児童公園、曼陀羅寺公園、中央公園、蘇南公園、江南緑地公園(中般若・草井)、江南花卉園芸公園(フラワーパーク江南)
大規模な火事	交通児童遊園、(仮称)大間児童公園、曼陀羅寺公園、中央公園、蘇南公園、江南緑地公園(中般若・草井)、江南花卉園芸公園(フラワーパーク江南)

資料：防災安全課

目標年度（R9年度）のすがた

公園緑地の整備が進み、それらが地域によって大切に管理され、また、地域を挙げて緑化に取り組んでいる。
その結果、緑豊かな環境でゆとりとうるおいのある生活を送っている。

行政の使命

緑の基本計画などに基づき、計画的な公園整備を行うとともに、地域との協働による緑化の推進及び公園緑地の維持管理を行う。また、計画的な公園施設の改修・更新を行い、ライフサイクルコスト※の縮減を図る。

成果目標

全体目標：公園等が整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
公園等が整備され、ゆとりとうるおいのある生活を送っていると感じる市民の割合	%	33.4 (H28)	目標値	37.0	40.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	27.9	—	

個別目標①：都市公園等が整備され、気軽に利用できる公園が身近にあると感じている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
市民1人当たりの都市公園面積	㎡	3.9 (H28)	目標値	5.0	7.0	都市公園供用面積/人口
			実績値	5.0	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
都市公園等の整備推進	市民に憩いの場や遊びの場を提供するため、公園緑地等を整備する。	・公園等整備事業 ・木曾川上流域整備促進事業

個別目標②：都市緑化が推進され、ゆとりとうるおいのある生活を送っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
花いっぱい運動※実施箇所数	箇所	33 (H28)	目標値	35	37	緑化活動の状況を測定するもの。
			実績値	36	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
計画的な緑化の推進	ゆとりとうるおいのある生活環境を形成するため、緑化を推進する。	・緑化推進事業

個別目標③：地域で維持管理される公園緑地等が増え、適正に利用されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
地域で管理されている公園緑地等の数	箇所	43 (H28)	目標値	45	46	公園緑地等が地域で愛着をもって適正に管理されているかを測定するもの。
			実績値	44	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
適正な公園緑地等の維持管理	公園緑地等を安心して安全に利用することができるよう、公園緑地等の維持管理をする。	・公園等維持管理事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●緑化推進事業

・花いっぱい運動[※]事業やシンボルツリー配付事業[※]などの推進により、地域による緑化を進めています。

●公園等維持管理事業

・地域が公園に愛着をもち、より適正な管理が行われるように、地域による維持管理を推進しています。

市民協働の推進に向けて

●愛着の湧く公園づくりと地域による維持管理の推進

・愛着の湧く公園緑地の整備・利用促進を図り、地域による維持管理につながる取り組みを進めます。

関連する個別計画

- 江南市都市計画マスタープラン[※]（H30～R9）
- 江南市緑の基本計画（H30～R9）
- 江南市立地適正化計画[※]（H31～R9）
- 江南市公共施設等総合管理計画（H28～R37）
- 木曽川左岸公園計画



花いっぱい運動（江南駅前）



シンボルツリー配付事業

I まち
柱 5

生活を支える道路の整備と維持管理
— 道路 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

近年、厳しい財政状況が続く中で、道路の陥没やトンネルの崩落などが発生しており、公共施設などの老朽化対策が大きな課題となっています。

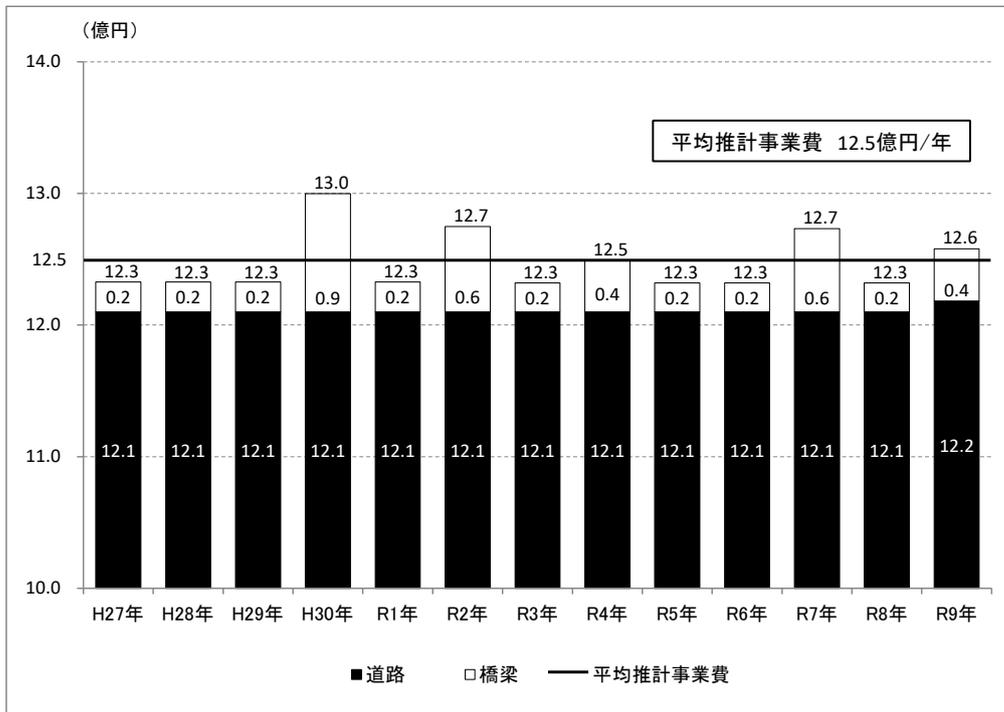
【江南市の現状・課題】

江南市においても、道路や橋梁などの道路施設は、高度成長期以降に集中的に整備されたものが多く、今後急速に老朽化が進展し、一斉に改修・更新が必要となる見込みで、維持管理費用が増大することが課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、道路施設は市民生活に直結した都市基盤であるため、劣化や異常を早期に発見し、軽微なうちに対策を行う予防保全の考えを取り入れ、コスト削減・平準化を踏まえた中長期を見通した計画的な維持管理の実施により、地域の道路網の安心・信頼を確保することが求められています。

■道路施設の更新費用の将来見込み



資料：土木課

目標年度（R9年度）のすがた

交通量の多い生活道路を中心に、道路が整備され、適切に維持管理されている。
その結果、道路を安全に通行することができ、市内で安心して活動し、生活できている。

行政の使命

安全で安心できる道路づくりの推進と計画的・効率的な道路整備を実施する。また、道路の良好な環境を保つため、適切な維持管理を実施する。

成果目標

全体目標：道路が整備され、人や車が安全・快適に通行している

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
道路が整備され、人や車が安全に通行していると感じる市民の割合	%	27.7 (H28)	目標値	42.0	50.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	30.0	—	

個別目標①：道路等の財産が適切に管理され、快適に利用している

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
道路占用料等の収納率	%	99.9 (H28)	目標値	100.0	100.0	道路占用料等収納額/道路占用料等調定額
			実績値	100.0 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
適正な道路等の財産管理	道路等に関する台帳整備、使用許可などの財産管理や、不法投棄物の撤去などの保安全管理を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 道路台帳整備事業 道路・河川占用・公共用物使用許可事業

個別目標②：道路が整備され、円滑な通行が確保されている

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
側溝整備率	%	67.1 (H28)	目標値	68.6	69.4	側溝延長/道路実延長×2
			実績値	68.5 (R4)	—	
舗装整備率	%	92.7 (H28)	目標値	93.1	93.3	舗装済延長/道路実延長
			実績値	94.6 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
道路の整備及び維持管理	道路施設の長寿命化を推進するため、計画的に点検や修繕等を実施する。また、地元からの要望をもとに、整備の必要性や事業効果を勘案し、道路側溝・舗装等工事を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> 道路施設長寿命化事業 道路側溝・舗装等整備事業

市民協働のモデル

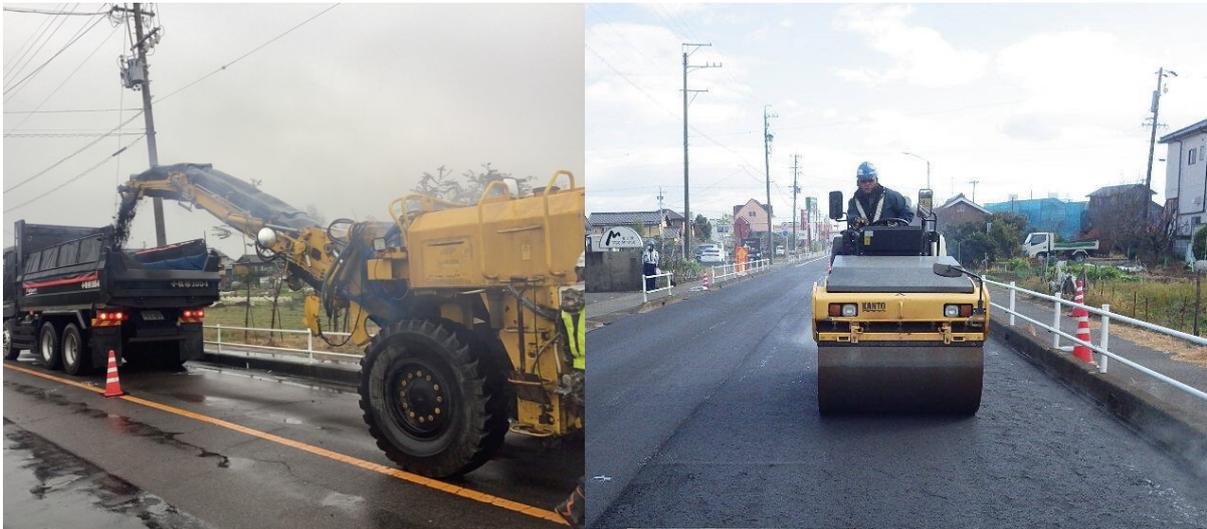
市民協働事業

●道路維持管理事業

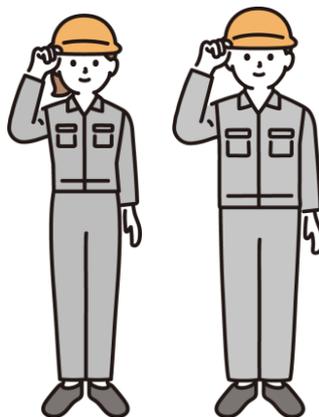
・市民などが道路の清掃に参加することで愛着をもち、道路が良好な環境に保たれています。

関連する個別計画

- 江南市公共施設等総合管理計画（H28～R37）
- 江南市道路施設長寿命化計画
- 江南市舗装長寿命化計画
- 江南市都市計画マスタープラン※（H30～R9）
- 江南市緑の基本計画（H30～R9）
- 第三次江南市環境基本計画（R4～R13）



道路の舗装工事



I まち
柱 6

安心して住み続けられる住環境の確保
— 住環境 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

地震などの災害から身を守ることができる安全性の確保、適切な管理が行われていない空家等に関する対策、高齢化の進展に伴う市街地への居住空間の創出など、人々の住環境へのニーズは多様化し、関心が高まりつつあります。

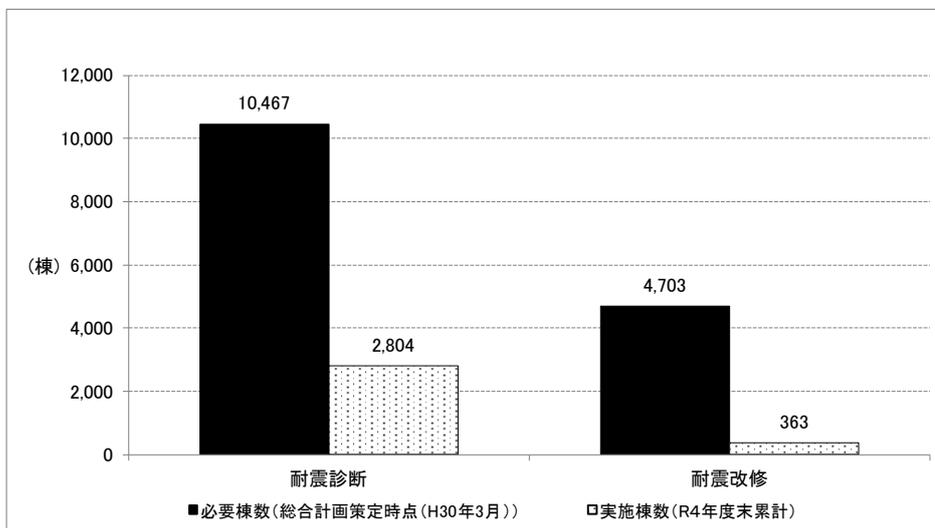
【江南市の現状・課題】

特定行政庁（限定特定行政庁）※である江南市においても、民間指定確認検査機関※や市民からの建築相談、関係法令などについての相談が増加しています。また、南海トラフ地震※をはじめとした地震への対策や空家等に関する住環境に不安を感じている市民も多く、木造住宅の耐震改修の早期実施、減災化の対応、空家等対策、市営住宅の老朽化対策の推進など、安心・安全な住環境の確保が課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、江南市耐震改修促進計画や江南市空家等対策計画に基づき、耐震・減災事業に対する補助制度の継続や、空家等の発生抑制・利活用の検討を進めるとともに、専門的技術をもつ職員や豊富な知識・経験をもつ民間組織との連携が必要となっています。また、住宅に困窮する方が安心して暮らせる市営住宅等の住環境の提供や、公共施設の安全性・快適性の確保なども求められています。

■耐震診断と耐震改修の実施状況



資料：建築課

目標年度（R9年度）のすがた

民間組織と行政が連携を図り、効果的な開発・建築指導がなされ、耐震及び空家等への取り組みが進められている。また、公共施設は、バリアフリー化・ユニバーサルデザイン※化され、有効に利用されている。

その結果、住環境が整備され、市民は安心・安全な生活環境の下で暮らしている。

行政の使命

安心・安全な住環境を構築するため、専門的技術・知識や経験をもつ市民や民間組織と連携し、耐震改修、空家等対策、街なか居住、既存公共施設の有効利用とバリアフリー化・ユニバーサルデザイン化を推進する。

成果目標

全体目標：住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
住環境が整備され、安心・安全な生活環境が確保されていると感じる市民の割合	%	54.0 (H28)	目標値	57.0	60.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	39.5	—	

個別目標①：住環境に関する民間組織と行政との協働による取り組みは、安心・安全への住民意識を高揚させている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
民間での建築確認割合	%	99.0 (H28)	目標値	99.0	99.0	安心・安全な住環境づくりに寄与する、民間組織での建築確認の割合を測定するもの。
			実績値	99.0 (R4)	—	
耐震診断の診断実施済棟数	棟	2,580 (H28)	目標値	3,500	4,000	住宅に対する防災意識を測定するもの。
			実績値	2,804 (R4)	—	
特定空家等の件数	件	2 (R4)	目標値	—	0	所有者等による適切な管理が行われず、防災、衛生、景観等が地域住民の生活環境に深刻な影響を及ぼしている特定空家等の認定件数。
			実績値	—	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
適切な開発許可と建築指導、木造住宅耐震化の促進及び空家等対策の推進	良好な生活環境を確保するため、建築に関する審査、指導や建築物の耐震化を促進、空家等に関する施策を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> ・建築確認審査等事業 ・民間木造住宅耐震診断事業 ・民間木造住宅耐震補強事業 ・耐震改修促進計画事業 ・空家等対策推進事業 ・開発行為指導事業

個別目標②：住民による施設運営への参加により適切に整備・維持管理された市営住宅が供給され、安心・安全な生活環境が確保されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
市営住宅の入居割合	%	100.0 (H28)	目標値	100.0	100.0	市営住宅に対する需要を測定するもの。 入居戸数/市営住宅戸数
			実績値	99.3	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
市営住宅の整備・維持管理及び市有建築物の整備	住宅に困窮する低額所得者が、健康で文化的な生活を営むことができるようにするため、市営住宅を供給する。また、公共施設の安全性及び快適性を確保するため、市有建築物の新築、改修、修繕等の設計及び工事の監督をする。	<ul style="list-style-type: none"> ・市営住宅維持運営事業 ・市営住宅長寿命化事業 ・市有建築物建設・改修・修繕等の設計及び工事の監督業務

市民協働のモデル

市民協働事業

- 耐震改修促進計画事業**
 - ・自主防災訓練の際に、無料耐震診断及び耐震改修工事等補助金の広報活動を防災リーダー会※が行っています。
- 空家等対策推進事業**
 - ・空家等対策の協議会の委員として市民が参加しています。
- 市営住宅維持運営事業**
 - ・共用部分の清掃などの市営住宅の維持管理について、入居者が積極的に行っています。

関連する個別計画

- 江南市公共施設等総合管理計画（H28～R37）
- 江南市耐震改修促進計画（改訂版）（R4～R12）
- 江南市都市計画マスタープラン※（H30～R9）
- 江南市空家等対策計画（H30～R9）
- 江南市マンション管理適正化推進計画（R5～R15）



市営東野住宅

I まち
柱 7

浸水被害のないまちづくりの推進
— 治水 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

近年、地球温暖化などを原因とする集中豪雨や毎年発生する台風などの自然災害が激甚化しており、全国で多くの浸水被害が発生しています。

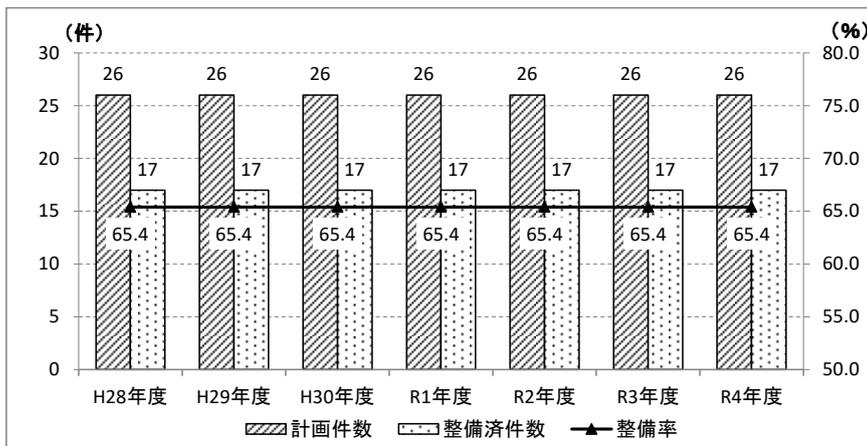
【江南市の現状・課題】

江南市においても、都市化が進むとともに、保水機能をもつ田畑が減少しており、浸水被害が多く発生するようになりました。また、近年の大雨による道路の冠水や木曽川氾濫などのリスクも高まっていることから、雨水貯留施設の整備や河川・排水路の改修が急がれます。

【今後の方向性】

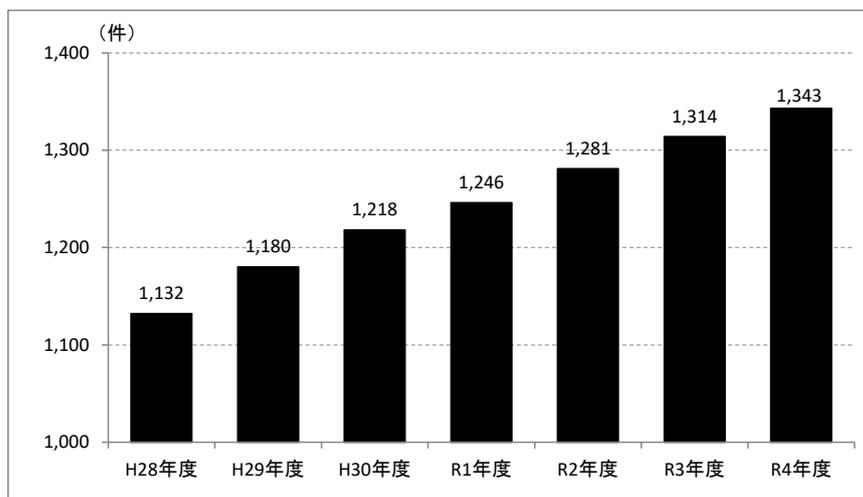
今後は、学校などの公共施設への雨水貯留施設の整備や河川・排水路の改修などの治水対策を推進することで、市民が安心して暮らすことができる、浸水被害のないまちづくりが求められています。

■ 雨水貯留施設整備率



資料：下水道課

■ 雨水貯留浸透施設※設置費補助金申請累計件数



資料：下水道課

目標年度（R9年度）のすがた

市内の河川改修事業、公共施設への雨水貯留施設整備、市民が担う雨水貯留浸透施設^{*}の設置など、流域の総合治水対策が進み、浸水被害が軽減されている。
その結果、浸水被害に対する不安が軽減され、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

国・県・近隣自治体などの関係機関と一体となって、河川の調節池整備や河川・排水路の改修を進める。
降雨時の河川や排水路への負担を軽減するため、公共施設への雨水流出抑制施設設置を進める。
また、市民に対し雨水貯留槽、浸透トレンチ^{*}、雨水浸透柵、透水性舗装などの浸透施設と浸水防止施設の普及を図る。

成果目標

全体目標：河川等が整備され浸水被害に遭うことがなく、安心して暮らしている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
河川等が整備され、安心して暮らしていると感じる市民の割合	%	48.7 (H28)	目標値	60.0	67.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	47.1	—	

個別目標①：雨水貯留機能の強化と河川等の改修整備がされ、浸水被害が軽減している

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R5	R9		
雨水貯留施設整備率	%	65.4 (H28)	目標値	69.3	77.0	雨水貯留施設整備済件数/計画件数
			実績値	65.4 (R4)	—	
雨水貯留浸透施設設置費補助金申請累計件数	件	1,132 (H28)	目標値	2,190	2,310	市民が担う治水対策の取り組み状況を測定するもの。
			実績値	1,343 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
雨水貯留機能の強化と河川・排水路の改修整備	浸水被害を軽減するため、学校などの公共施設への雨水貯留施設を順次整備する。また、総合治水対策を推進するため、市民が担う雨水貯留浸透施設の設置に対し、補助金を交付する。	<ul style="list-style-type: none"> ・下水道事業計画（雨水）策定等事業 ・雨水貯留施設整備事業 ・雨水流出抑制事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●**雨水流出抑制事業**

- ・降雨時の河川や排水路への負担を減らすため、宅地開発などの場合、事業者が特定都市河川浸水被害対策法や江南市雨水流出抑制基準に基づき対策することで、敷地からの雨水の流出を抑制しています。
- ・降雨時の河川や排水路への負担を減らすため、市民が雨水タンクなどの雨水貯留浸透施設を設置することで、敷地からの雨水の流出を抑制しています。

●**総合治水対策事業**

- ・河川や排水路の美化意識を高めるため、市民と行政が一体となり、川と海のクリーン大作戦[※]を実施しています。

関連する個別計画

- 第3次江南市総合治水計画（H22～R22）
- 公共下水道事業基本計画（H21～R7）



雨水貯留施設 工事状況（古知野高等学校）

I まち
柱 8

公共下水道の普及促進

— 下水道 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

わが国では生活環境の改善や水質の保全を目的に、汚水処理施設の整備を進めてきており、令和4年度末の汚水処理人口普及率は92.9%となっています。他方で、人口減少などに伴う厳しい経営環境、執行体制の脆弱化、施設の老朽化など下水道事業の長期的な継続性について課題を抱えており、また、脱炭素化の推進などの新たな取り組みも進める必要があるため、国では平成26年度に策定した「新下水道ビジョン」の加速戦略を策定するなど、その対応を進めています。

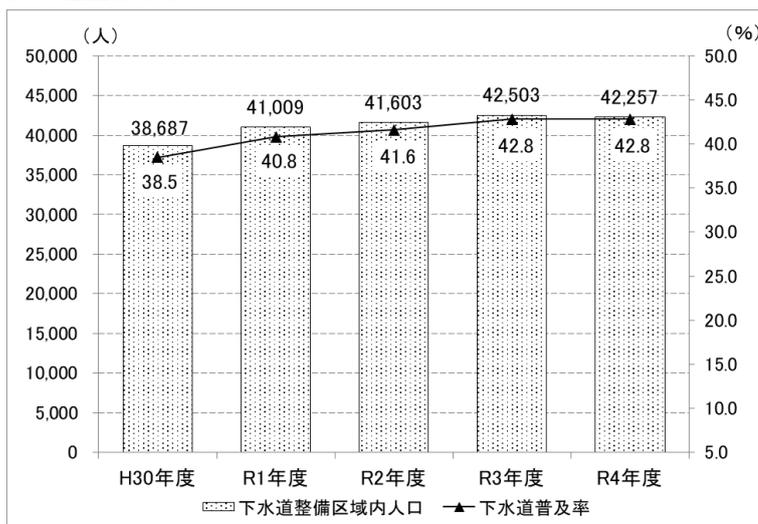
【江南市の現状・課題】

江南市では、下水道整備の事業着手が平成5年度と遅かったため、令和4年度末の下水道普及率は42.8%（愛知県平均81.0%）と近隣市町^{*}と比べても低い水準であり、市街化区域における下水道未普及地域の早期解消が求められています。また、江南市の下水道事業は、健全な経営を図り、事業の継続性を確保するため、令和2年度に企業会計へと移行しています。事業経営に大きな影響を与える下水道施設の更新は、事業着手が遅れたこともあり、令和25年頃までは更新費用が発生しない見込みですが、処理区域内に排出量の多い企業などの大口需要家が少なく、使用料収入が少なく、下水道経営の健全化が課題となっています。

【今後の方向性】

今後は、できるだけ早急に下水道整備を進め、処理区域内での水洗化率を向上させるとともに、持続可能な下水道環境の維持のため、江南市下水道事業経営戦略に基づき、中長期的な視点に立った経営を進めます。

■下水道整備状況



目標年度（R9年度）のすがた

供用開始されている区域の大部分が下水道に接続されている。
その結果、下水道整備区域内の側溝には、雨水のみが流れ、市民は衛生的で快適な暮らしをしている。

行政の使命

下水道使用料、受益者負担金[※]等の賦課徴収事務を適正に行い、健全で持続可能な下水道経営及び計画的な下水道整備の推進を図る。下水道接続に対する市民の理解を深めてもらうため、啓発活動を行う。

成果目標

全体目標：下水道が整備され、衛生的で快適な生活を送っている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
下水道や浄化槽が整備され、衛生的で快適な生活を送っていると感じる市民の割合	%	46.7 (H28)	目標値	49.0	50.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	54.0	—	

個別目標①：下水道使用料、受益者負担金の収納率及び接続人口の向上により、健全で安定した下水道事業が経営されている

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
下水道使用料の収納率 (現年度)	%	99.7 (H28)	目標値	↗	↗	下水道使用料収納額/下水道使用料調定額
			実績値	99.5 (R4)	—	
受益者負担金の収納率 (現年度)	%	99.2 (H28)	目標値	↗	↗	受益者負担金収納額/受益者負担金調定額
			実績値	98.1 (R4)	—	
下水道整備区域内の水洗化率	%	69.6 (H28)	目標値	80.4	86.9	下水道整備区域内の接続人口/下水道整備区域内人口
			実績値	74.6 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
下水道事業の健全な経営	下水道事業の健全経営のため、下水道使用料、受益者負担金及び分担金の賦課、徴収などの事務を行い、財源を確保する。また、下水道に対する市民の理解を深め普及促進を図るため、啓発活動を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業 ・下水道使用料賦課徴収事業 ・受益者負担金等賦課徴収事業 ・下水道経営事業 ・下水道啓発事業

個別目標②：下水道が整備され、生活環境が向上している

指標名	単位	基準値	計画値		説明	
			R 5	R 9		
下水道普及率	%	32.1 (H28)	目標値	41.8	43.2	下水道整備区域内人口/行政人口
			実績値	42.8 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
下水道管きよの建設・維持管理及び普及促進	下水道整備区域を拡大するため、計画的な下水道施設の整備を行い、適切な維持管理を行う。また、市民が下水道へ接続するため、申請受け付け、完了検査などに関する事務を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・公共下水道事業 ・下水道事業計画策定等事業 ・実施設計測量委託事業 ・公共補償事業 ・管きよ布設事業 ・下水道施設維持管理事業 ・排水設備関連事業 ・下水道台帳整備事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●下水道啓発事業

- ・市民に下水道接続の意義や環境への意識を深めてもらうため、地元説明会や市のイベントなどでPRブースを設置し、啓発活動を行っています。また、小中学生が、日本下水道協会主催のコンクールに、書道、ポスターなどを出展しています。

関連する個別計画

- 江南市公共施設等総合管理計画（H28～R37）
- 公共下水道事業基本計画（H21～R7）
- 江南市生活排水処理基本計画（改訂版）（H28～R7）
- 江南市下水道事業経営戦略（R3～R12）



一級河川五条川

I まち
柱 9

安全な水の安定供給
— 上水道 —



現状・課題と今後の方向性

【社会全体の現状・課題】

高度経済成長期に集中的に整備された水道施設の老朽化が急速に進行する中、大規模地震発生時においても、被害を可能な限り抑制し、速やかにかつ高いレベルで水道事業が果たすべき機能を維持・回復することができるよう、水道施設の更新・耐震化について計画的に進めていく必要があります。

また、人口減少社会の到来に伴う水需要の減少により水道事業の経営環境が悪化する中、将来にわたって安定的に水道事業を継続していくために、なおいっそうの経営基盤の強化が求められています。

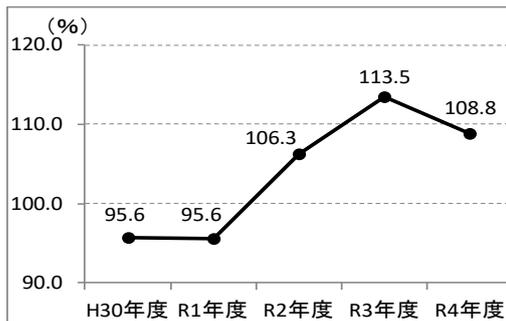
【江南市の現状・課題】

江南市においても、「安全な水の安定供給」に対して約75%の市民が満足している中、水道を健全な状態で次世代に引き継いでいくため、基幹管路更新工事などを計画的に実施し、水道施設の老朽化対策や耐震化を着実に進めていく必要があります。また、人口減少などに伴い給水収益が減少する中で、安定的かつ持続的な水道事業を運営していくため、経営の健全化を図る必要があります。

【今後の方向性】

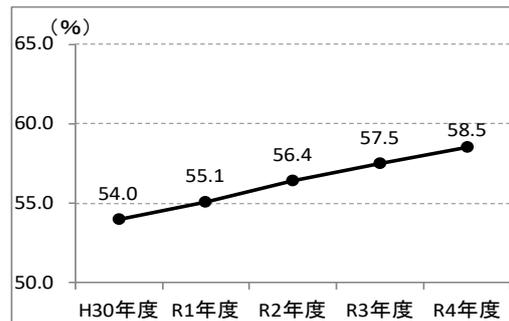
投資面では、長寿命化された製品の採用や施設のダウンサイジング※を図りながら水道施設の計画的な更新・耐震化を行うとともに、スマートメーター※などに代表される新技術の導入について検討を進め、経営面では、広域化や広域連携、公民連携の取り組みの強化を進めるとともに、5年ごとに水道料金の見直しを行うなど、経営の健全化に取り組んでいくことが求められています。

■総収支比率の推移



資料：水道課

■管路耐震適合率の推移



資料：水道課

目標年度（R9年度）のすがた

健全な経営と水道施設の計画的かつ適正な更新、維持管理が行われている。
その結果、安全で良質な水道水が安定的に供給され、市民が安心・安全に暮らしている。

行政の使命

健全な経営と水道施設の整備を行い、安全で良質な水道水を安定供給する。

成果目標

全体目標：健全な経営と水道施設の整備により、安全な水道水が安定的に供給され、市民は安心して利用している

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
安全な水が安定して供給されていると感じる市民の割合	%	81.2 (H28)	目標値	85.0	85.0	市民満足度調査により測定。
			実績値	75.9	—	

個別目標①：水道事業が適正に運営され、健全な経営が行われている

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
水道料金の収入率 (現年度)	%	99.7 (H28)	目標値	↗	↗	水道料金収入額/水道料金調定額
			実績値	99.6 (R4)	—	
総収支比率	%	102.2 (H28)	目標値	100.0	100.0	水道事業の経営状況を測定するもの。 水道事業総収益/水道事業総費用 (長期前受金戻入収益化分を除く。)
			実績値	108.8 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
水道事業の健全な経営	水道事業の経営健全化を図るため、適正な会計処理とともに、公平かつ公正な水道料金の徴収により財源を確保する。	<ul style="list-style-type: none"> 水道料金賦課等事業 企業会計管理事業

個別目標②：水道施設が整備され、安定した水道水が供給されている

指標名	単位	基準値	計画値	R		説明
				5	9	
管路耐震適合率	%	50.9 (H28)	目標値	59.4	64.1	管路の耐震適合整備状況を測定するもの。 耐震適合延長/総延長
			実績値	58.5 (R4)	—	
水質基準適合率	%	100.0 (H28)	目標値	100.0	100.0	水質基準に適合する水を供給しているかを測定するもの。 水質基準適合検体数/測定総検体数
			実績値	100.0 (R4)	—	
有収率	%	93.5 (H28)	目標値	94.0	94.4	収入を伴う水量と配水した水量の状況を測定するもの。 有収水量(収入があった水量)/配水量
			実績値	91.2 (R4)	—	

●行政の取り組み

基本施策	施策内容	主な事務事業
水道施設の整備と水道水の安定供給	安全な水の安定供給を図るため、計画に基づき水道施設の更新を実施するとともに、適切な維持管理を行う。	<ul style="list-style-type: none"> 施設維持管理事業 水質管理事業 配水管※布設・改良事業 基幹管路更新事業

市民協働のモデル

市民協働事業

●企業会計管理事業

- ・江南市上下水道事業経営審議会において、市民・団体・学識経験者などが参加し、協働により経営に関する重要事項について調査、審議を行っていきます。

関連する個別計画

- 江南市水道ビジョン（H24～R 8）
- 江南市水道事業基本計画（H24～R 8）
- 江南市水道事業経営戦略（R 1～R10）
- 第1次基幹管路更新計画（H29～R13）
- 第3次配水管改良計画（H28～R 7）



下般若配水場ポンプ室